

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			<p>令和6年度当初予算編成に当たっての意気込みについて</p> <p>市長の3期目、折り返しに当たる令和5年度当初予算編成方針では、厳しい財政見込みの中、「人材育成」、「産業集積」、「教育」などに焦点を当て、新型コロナウイルス感染症の収束や北陸新幹線加賀温泉駅開業という追い風の下で、これまでまいた種を开花させる施策や、これまでの施策を飛躍させる新施策を期待している。</p> <p>令和6年度当初予算では、大きなテーマである「スマートシティの実現」や「挑戦可能性都市」に向けた戦略として、具体的にどのような「攻め」の施策に重点を置いて編成するのか。市長の思い、意気込みを問う。</p>	
2			<p>デジタル田園健康特区ならではの先進的な政策について</p> <p>「スマートシティ」や「挑戦可能性都市」の実現にデジタル田園健康特区に指定されたことは大きな強みである。</p> <p>「新たな交通体系の構築方針」の中の国家戦略特区を生かした取組や「加賀市開業ワンストップセンター」の特区の特例活用が見られる。さらに今年4月に西日本電信電話株式会社に選定した「医療版情報銀行」構想の具体的な構築内容を問う。また、これらの取組の進捗状況を示せ。</p> <p>さらに、これらの事例のほかにデジタル田園健康特区ならではの具体策の検討状況と加賀市の先進的な取組との連携、相乗効果の戦略について問う。</p>	
3	(1)		<p>北陸新幹線金沢敦賀間開業について</p> <p>開業への体制づくりの仕上げについて</p> <p>開業まで3か月あまりの最後の仕上げの時期に、さらに気運を盛り上げるため市外へのPRなど、どのような事業展開を考えているのか。「のぼり旗」は店舗など設置場所にやや偏りがあるように感じられる。小松市、あわら市のような街路灯つり下げタイプの「フラッグ」がもっとあってもいいのではないか。</p> <p>また、北陸新幹線加賀温泉駅開業日記念事業の補正1,800万円（「記念セレモニー」や「おもてなしイベント」）の具体的な事業内容を示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号	(2)	発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	<p>さらなる開業効果とその持続について</p> <p>「開業日が本当の意味でのスタート」でもあり、開業後の「アフター新幹線」施策として、さらなる開業効果を引き出し、持続するため切れ目のない戦略が必要だと考えるが、市内への誘客や受け入れ体制、二次交通、観光スポットの整備をはじめ、来年度当初予算の対応も含めてどのような展開を図るのか。</p>	
	(3)	<p>北陸新幹線開業から高架下施設開業までの加賀温泉駅について</p> <p>北陸新幹線開業時点ではにぎわい交流施設は工事中で、仮設駅舎は開業後速やかに取り壊す方針が、先の新幹線関連整備・開業効果特別委員会で示された。そこで、にぎわい交流施設の本格オープンや駅前広場の稼働時期と開業後それまでの整備、運用スケジュールについて整理して説明せよ。</p> <p>また、このような暫定対応が観光客や市民の混乱を招かないよう、きめ細やかな案内や広報が必要であると思うが、どのように行うのか。</p>	
	(4)	<p>並行在来線と既存駅の活用について</p> <p>並行在来線の加賀温泉駅新幹線接続駅として、大聖寺駅は新設されたゲートウェイとしての役割が明確でハード整備も整っているが、動橋駅の話し合いは行われているものの、活用の方向性が見えていないようである。</p> <p>動橋駅前の空き店舗を生かしたカフェや交流スペースを整備してにぎわいを取り戻そうという民間の動きや、9月の予算決算委員会総務経済分科会での「動橋駅の活用について、今後IRいしかわ鉄道と協議したい」という答弁を踏まえて、並行在来線としての動橋駅をどのようにしていくのか、方向性を示せ。</p>	
4		<p>産業団地の整備状況について</p> <p>今年度当初予算に新保北地区産業団地事業と次世代型産業パーク事業が予算計上されており、次期産業集積地の検討事業が形状されているが、この2つの事業について現在の進捗状況を尋ねる。</p> <p>特に「次世代型産業パーク事業」の「次世代型」のイメージや整備場所の絞り込みはどこまで見えているのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
5	(1)	<p>① 12月補正予算事業について 生活バス路線キャッシュレス化事業について 事業の全体像について</p> <p>12月補正の北鉄加賀バスキャッシュレス端末導入費約291万円はバスの利便性が高まる点で賛成するが、全体の事業費規模や北鉄グループの負担の有無など事業の全体像と負担割合を示せ。</p>	
		<p>② その先の利便性向上について</p> <p>路線バスのキャッシュレス化は「移動最適化都市」への布石の1つであると理解しているが、市内の地域公共交通の乗合タクシーやキャンバスなども大きな役割を果たしている。このような路線バス以外のキャッシュレス化の現状と市の対応方針を問う。</p>	
	(2)	<p>市道C第463号線消雪施設整備事業について</p> <p>12月補正の市道C第463号線消雪施設整備1,990万円について、これまでも質問してきたが、この道路は災害時の緊急輸送道路にもなっており、積雪時の交通や安全を確保する点で大いに評価する。そこで、令和8年度までの計画となっているこの区間の具体的な整備内容を尋ねる。</p> <p>また、路線全体から見れば、箱宮町まで施工することが求められると思うが、2期、3期といった次の事業計画について示せ。</p>	